

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本 チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	18	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●	・直営店で利用している買物バックについて有料化が始まったタイミングで天然由来成分でできた製品へ変更している。また、製造段階で破棄する食用油について再利用できる業者へ委託している。									12.5		14.1						
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる	●	・製造時に発生するクズなどは県内の養豚場で飼料として再利用。油脂については再利用する業者へ提供するなどCO2削減につながる活動を行っている。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.2			
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる	●						6.4 6.6												
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している	●				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	●												12.6						
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる	●	・2023年度中に本社社屋に太陽光パネルを設置しと蓄電池を設置し、再生可能エネルギーの利用を開始する。								7.2					13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	●												12.2	13	14	15			
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる	●	・製造段階で発生する端材について商品化を進めており、商品化できないものについては畜産業者へ飼料として提供をしている。	1	2				6.4					12.3 12.5		14	15	17		
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●	・就業規則の服務心得にて従業員に周知している。														16 16.5			
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●	・就業規則の服務心得にて従業員に周知している。														16			
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●	・特許、商標登録等の知的財産に関しての取得・管理をしている。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●	・個人情報保護に関する基本方針を定め、体制を整備している。															16		
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	●																16		
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	●					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●	・高知県版HACCPの認証を受けている。 ・日本冷凍食品協会の冷凍食品認定制度の認証を受けている。			3.9								12.4						
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●	・お客様からの要望、申出について専用窓口を開設しており、各種いただいたご意見ご要望などは社内関係部署で共有し、解決する仕組みを社内構築している。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●	・直営店「芋屋金次郎」において環境に配慮したバイオマスレジ袋を導入している。						6					12	13	14	15			
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している	●						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
社会貢献・地域貢献	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している		●	・地域の小学生、中学生の工場見学や高校へ出前授業を行うなど地域交流を通して課題を見つけ改善対応している。				4				9		11	12			14	15		17		
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・高知県内のイベントへの協賛やスポーツイベントへの商品提供など地域に根差した活動をしている。				4							11				14	15		17	
組織体制	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・高知県産の食材を使った商品化をしている。								8	9		11	12							
	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している		●	・コンプライアンス研修を従業員に実施し社内に浸透するように進めている。																	16		
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している		●	・管理職の会議や年度で行う従業員全体会議の場で経営層より経営目標を話す機会を設け従業員に共有している。								8	9								17		
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している		●	・担当者を任命している。																		16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		●	・お客様よりいただいた声について社内クラウドに集約し見える化を実践しており、課題について改善する仕組みを持っている。																		16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・法令遵守の方針や手順などの体制を整備している。																		16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・顧問弁護士、税理士、社会保険労務士より専門家としての助言をいただいている。																		16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・専門化の助言をもらいCSR活動を実施する計画を検討中。																		16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型コロナウイルスなどに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・高知県主催のBCP策定を活かし自社のBCPマニュアル策定済み。年度でシミュレーションを実施し、事業継続マネジメントに取り組んでいる。									9		11			13	13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・製造部門の根幹業務を中心に後継者育成を進めている。									8	9								17	
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている		●	・毎年7月から8月の間で災害を想定した避難訓練を実施している。 ・災害時の飲料水確保を自社敷地に備えている。 ・事業所内に災害時用の食料を備蓄している。				4						11.5		13.1					16		
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・主要な事業所へAEDの配備と社外の方も緊急時に利用できるように設置場所を公開している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17	
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、Uターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・新規学卒者の採用に向け、県内に限らず県外からもインターンシップを受け、実施している。 ・県内の高等学校と連携し、出前授業を実施している。 ・高知県人材育成・確保センター主催の県外の就職セミナーへ参加し、高知県へUターン、Uターンする人材確保に取り組んでいる。				4.4				8.5	8.6									17	
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●										8	9		11							